

號五十一

保存期限 永久 決裁指定 局長委任 決行指定

大臣 <b>委</b>		局長 主務		政務 次官		受領番號 <b>壹第六二〇五號</b>	件名 保護自動車一部構造變更件
次官		局長 主務		政務 次官			
大臣 <b>委</b>		局長 主務		政務 次官		起元應(課名)	機械課
高級副官		局長 主務		政務 次官			
主務副官 官房御用掛 計		局長 主務		政務 次官		審案 筆記者	
主務課員		局長 主務		政務 次官			
連帶		局長 主務		政務 次官			
決行後 覽回		局長 主務		政務 次官			
了結		局長 主務		政務 次官			
領受		局長 主務		政務 次官			
提出		局長 主務		政務 次官			
領受		局長 主務		政務 次官			
了結		局長 主務		政務 次官			

政務次官 回付 決裁前後連帶

拾年保

決行(決裁)後 覽回課名

陸軍

陸普

方義錫外三名へ指令

(十一月廿八日) 附出願ニ係ル左記保護自動車ニ對シ(木炭)瓦斯發生裝置取付、  
件許可ス

但シ揮發裝置其儘存置シ瓦斯發生機ハ収用其他際ハ取除キ提出スヘシ

左記

(丙種第<sup>二二一六</sup><sub>二二五六</sub>號 計二輛)

陸普第九〇五六號

昭和十六年三月拾日

注意 谷多喜磨、藤原重郎行ニハ( )内ヲ左ノ通改メ作ル

谷多喜磨(十一月廿一日) (アセキレン) (丙種第<sup>二二一</sup>號 計一輛)

藤原重郎(十一月廿八日) (アセキレン) (丙種第<sup>二四七六</sup><sub>二五四七</sub>號 計二輛)

林 茂樹(十一月廿六日) (木炭) (丙種第<sup>二四四九</sup>號 計一輛)

號 五 一

保存期限 永久 決裁指定 高責任 決行指定

大 臣	主 務 局	大 臣
受 領	受 領	受 領
昭 和 年	昭 和 一 六 年 二 月 六 日	昭 和 一 六 年 十 月 十 日
了 結	出 提	出 提
昭 和 年	昭 和 一 六 年 十 月 十 日	昭 和 一 六 年 十 月 十 日

大臣 委

局長 主務 局長

次官 委

政務 次官

主務 局長

高級 副官

主務 副官

主務 課員

審 案 筆 記 者

受 領 番 號

壹 第 六 二 〇 五 號

件 名

保 護 自 動 車 一 部 構 造 變 更 件

起 元 應 (課 名)

機 械 課

政務大官 回付 決裁前後一連帶

拾年係

決行(決裁)後 回覽課名

查 軍



陸軍省 第十六〇五

保護六輪自動車構造變更申請書



一丙種保護自動車 保護番號

二二一六 號 計貳輛

右ハ今般瓦斯倫燃料ニテ使用中ノ處 商工式木炭瓦斯發生機

取付致候間軍用自動車補助法施行細則第九號ニ依リ此段及申請候也

昭和拾六年十二月廿八日

住所 朝鮮咸鏡南道咸興府大和町三七  
氏名 北鮮交通株式會社 田



錫



陸軍大臣 東條英機殿

保護六輪自動車構造變更申請書

一丙種保護自動車 保護番號二二二一號 壹 輛

右ハ今般瓦斯倫燃料ニテ使用中ノ處「國產式アセチレン瓦斯發生機」  
取付致候間軍用自動車補助法施行細則第九號ニ依リ此段及申請候也

昭和十六年十一月廿一日

住 所 朝鮮京城府黃金町二丁目一九番地

氏 名 漢江水力電氣株式會社 取締役社長 谷 多喜



陸軍大臣 東條英機

保護六輪自動車構造變更申請書

一丙種保護自動車 保護番號 二四七六  
二五四七 號 貳 部

右ハ今般瓦斯倫燃料ニテ使用中ノ處 國產式五七〇瓦斯發生機

取付致候間軍用自動車補助法施行細則第九號ニ依リ此段及申請候也

昭和拾六年十一月廿八日  
昭和 年 月 日

住 所 朝鮮黃海道遂安郡公浦南六岑里

氏 名 鐘淵實業株式會社 東支店 營業所

藤原 重 郎

陸軍大臣 梶 英 機 殿

保護六輪自動車構造變更申請書

一丙種保護自動車 保護番號ニ四四九號

一 輛

右ハ今般瓦斯倫燃料ニテ使用中ノ處一ニ浦式木炭瓦斯發生機  
取付致候間軍用自動車補助法施行細則第九號ニ依リ此段及申請候也

昭和十一年十一月二十一日

住所

氏名



林

茂



大東條英機殿

第一號  
大 政 翼 贊 會

昭和十六年十二月六日

拾年保

三三四

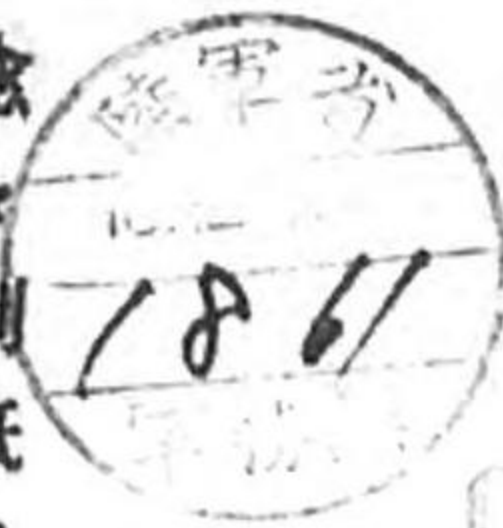


大政翼贊會中央協力會議  
議長 後藤 文 夫

陸軍次官 殿

中央協力會議臨席方御依頼ノ件

總裁ヨリ豫而御案内申上置候第二回中央協力會議ハ愈々別紙日程細目ニ依リ當初ノ計畫通り五日間ニ亘リ開催ノコトニ決定致候ニ就テハ總會並ニ委員會ニ於テ必要ニ應ジ御所管事項ニ關シ政府ノ方針等御説明相願度候間日程細目御参照ノ上貴官並ニ代理官ノ御出席賜度此段及御依頼候  
尙第一日ノ開會式ニハ萬障御繰合ノ上特ニ大臣閣下以下關係官ノ御臨席ヲ仰キ度御願申上候





第二回中央協力會議日程細目

第一日（十二月八日（月））

開會式

午前 九。三〇—一〇。〇〇

一 敬禮

二 官城遙拜

三 國歌齊唱

四 紀元二千六百年紀元節ニ賜リタル詔書捧讀

五 戰歿將兵ノ英靈ニ對スル感謝並出征將兵ノ武運長久祈念

六 誓

七 總裁挨拶

八 議長挨拶

九 敬禮

總會

開會

午前 一〇。〇〇

副總裁挨拶並本部諸方針說明

一〇。〇〇 | 一〇。二〇

外務大臣發言

一〇。二〇 | 一〇。四〇

海軍大臣發言

一〇。四〇 | 一〇。〇〇

第一回中央協力會議議題處理報告

一一。〇〇 | 一一。一〇

議案上程

一一。一〇

皇軍將兵ニ對スル感謝決議

一一。二〇

議題協議

提案說明第一部二人

一一。二〇 | 一二。〇〇

休憩

提案說明第一部五人

午後 一〇。〇〇 | 一二。四〇

第二日 (十二月九日(火))

關聯發言 三人

午後 二。四〇—二。五五

政府、本部側發言

" 二。五五—三。一五

提案說明第二部五人

" 三。一五—四。五五

散會

" 五。〇〇

再會

午前 九。〇〇

大藏大臣發言

" 九。〇〇—九。二〇

企畫院總裁發言

" 九。二〇—九。四〇

議題協議

提案說明第二部一人

" 九。四〇—一〇。〇〇

關聯發言 四人

" 一〇。〇〇—一〇。二〇

大藏次官發言

" 一〇。二〇—一〇。三〇

政府、本部側發言

午前 一〇。三〇—一〇。五〇

提案說明第三部四人

" 一〇。五〇—<sup>午後</sup>〇。一〇

休憩

提案說明第三部一人

午後 一。〇〇—一。二〇

關聯發言 三人

" 一。二〇—一。三五

政府、本部側發言

" 一。三五—一。五五

厚生大臣發言

" 一。五五—二。一五

提案說明第四部六人

" 二。一五—四。一五

關聯發言 四人

" 四。一五—四。三五

政府、本部側發言

" 四。三五—四。五五

散會

" 五。〇〇

第三日 (十二月十日(水))

再會

午前 九。〇〇

農林大臣發言

" 九。〇〇 | 九。二〇

議題協議

提案說明 第五部 七人

" 九。二〇 | 一一。四〇

關聯發言 三人

" 一一。四〇 | 一一。五五

政府、本部側發言

" 一一。五五 | 〇。一五

休憩

商工大臣發言

午後 一。〇〇 | 一。二〇

議題協議

提案說明 第六部 八人

" 一。二〇 | 四。〇〇

關聯發言 四人

" 四。〇〇 | 四。二〇

政府、本部側發言

委員會構成

閉會

第四日 (十二月十一日 (木))

委員會

開會

議題協議

閉會

第五日 (十二月十二日 (金))

總會

開會

委員長報告

午後 四。二〇一 四。四〇

" 四。四〇一 五。〇〇

" 五。〇〇

午前 九。〇〇

午後 五。〇〇

午前 九。〇〇

第一委員會委員長

午前 九。〇〇—九。三〇

政府、本部側發言

" 九。三〇—九。五〇

第二委員會委員長

" 九。五〇—一〇。二〇

政府、本部側發言

" 一〇。二〇—一〇。四〇

第三委員會委員長

" 一〇。四〇—一一。一〇

政府、本部側發言

" 一一。一〇—一一。三〇

第四委員會委員長

" 一一。三〇—一二。〇〇

休憩

政府、本部側發言

午後 一。〇〇—一。二〇

第五委員會委員長

" 一。二〇—一。五〇

政府、本部側發言

" 一。五〇—二。一〇

第六委員會委員長

" 二。一〇—二。四〇

政府、本部側發言

午後 二。四〇一 三。〇〇

國難突破決議

三。〇〇一 三。四〇〇

議長統裁

三。四〇一 四。〇〇

閉會式

四。一〇一 四。三〇

一 敬禮

二 官城遙拜

三 國歌齊唱

四 戰歿將兵ノ英靈ニ對スル感謝並出征將兵ノ武運長久祈念

五 總裁挨拶

六 議長挨拶

七 萬歲奉唱

八 敬禮



第二回中央協力會議委員會

委員會名	關係官廳
第一委員會 (國民士氣の昂揚、興亞國民信念の確立)	內閣、外務省、內務省、陸軍省、海軍省、文部省、拓務省、興亞院、對滿事務局、情報局
第二委員會 (國民動員態勢の確立)	內務省、文部省、厚生省、企畫院、大藏省
第三委員會 (翼贊政治体制の確立)	內閣、內務省、文部省、法制局、情報局
第四委員會 (國民生活力の強化)	厚生省、內務省、文部省、商工省、農林省、企畫院、情報局
第五委員會 (戰時食糧の確保)	農林省、商工省、厚生省、企畫院
第六委員會 (經濟總力の發揮)	商工省、企畫院、大藏省、厚生省、農林省

第二回中央協力會議委員會

委員會名	關係官廳
第一委員會 (國民士氣の昂揚、興亞國民信念の確立)	內閣、外務省、內務省、陸軍省、海軍省、文部省、拓務省、興亞院、對滿事務局、情報局
第二委員會 (國民動員態勢の確立)	內務省、文部省、厚生省、企畫院、大藏省
第三委員會 (翼贊政治体制の確立)	內閣、內務省、文部省、法制局、情報局
第四委員會 (國民生活力の強化)	厚生省、內務省、文部省、商工省、農林省、企畫院、情報局
第五委員會 (戰時食糧の確保)	農林省、商工省、厚生省、企畫院
第六委員會 (經濟總力の發揮)	商工省、企畫院、大藏省、厚生省、農林省

注意

(本審案用紙ハ三年以内保存ノモノニ使用スルモノトス)

拾年保

陸軍

保存期限 三年  
決裁指定 大臣 決裁  
決行指定

第七

房官臣大		課局務主		大臣 東條		件名 滿州帝國之務總理大臣宛謝辭之閣元件	番受 領號 三三第百二十七回號	政務次官 回付 決裁前後連帶 課名	政務 次官	政務 次官	參與官	書記官	審案 筆記者
了結	領受	出提	領受	號番	局長								
昭和 年 三月 十日	昭和 年 三月 十日	昭和 年 三月 十日	昭和 年 三月 十日		武藤	佐藤							
(裁決)行決 覽回後		帶		連	局長	局長	長課	長課	主務副官 官房御用掛 計	主務課員	小三ノ高	池希	

陸軍大臣、滿州國事務總理大臣宛謝辭

電報

陸揚善

謝辭別紙

陸

7/2

陸滿普電

一三

昭和拾六年三月拾日

為

少長

局長

課長

二七

小島

陸軍大臣ヨリ滿州帝國々務總理大臣宛謝電

案

陸軍

帝國ノ對米英開戦ニ當リ御懇篤ナル祝意

ト御激励ノ辞ヲ寄セラレ感謝ニ堪ヘズ

帝國ハ前途ニ横ハル暗雲ヲ断乎一掃シ

大東亞共榮圈確立ノ目標ニ向ヒ一路邁進

セントス

聖戰五年ノ及ブト虽モ皇軍ノ志氣愈々昂

マリ少勝ノ信念益々鞏シ

貴國ノ帝國ト常ニ一体以テ磐石ノ陣

ヲ布キ微動ガモセザル態度ニ對シ衷心ヨリ

敬意ト感謝ヲ捧グルト共ニ

聖戰完遂ノタメ將來一層御協力御支援

賜<sup>コト</sup>度願<sup>ヒ</sup>上<sup>ス</sup>グ

(終リ)

# 海 陸

陸軍大臣  
陸軍部  
陸軍省  
陸軍

陸軍部電報第六二七四

電報譯 五月 八日 午前六時

軍和昭 12.9. 午前官

時時 分分 著發

第 號

陸軍大臣 東條英機 宛 發信者 滿洲帝國國務總理大臣 張繼 惠

米英兩國之對スル宣戰ノ大詔ヲ揮ニ詢ニ感  
激ニ堪ニス 聖戰五年日復共ノ貫徹ニ邁進  
シテアリシ皇軍カ今茲ニ大東亞共榮圈内  
諸國共同ノ敵タル米英兩國ニ對シ無敵ノ陣ヲ  
捲キ其時期ヲ掃ハントス 既ニ快報相次テ至  
ル我カ滿洲國一德一心共同防衛ノ本義ニ合テリ

陸軍

電報譯

月

日 午前 午後

時

分 分  
著 發

第

號

翻譯者

宛 發信者

貴國ト一體、以テ不敗ノ地位ヲ築キテ北方ニ磐  
 石ノ陣ヲ布セリ、只借ニ行カンノミ、  
 茲ニ衷心ヨリ皇軍ノ將兵ノ勇健開ト御武運ノ  
 長久トヲ祈ル



至急



三四〇 シンケウ 一九六九 六八、四七

ト...ツツグダ ンダ イジ ン」トウゼ ウヒデ キ ウナムヨ

ヘ イエイレウコクニタイスルセンセンノオウミコトノリヲハイシ  
マコトニカンゲ キニタエズ、セイセン五ネン、ニチヤソノカン  
テツニマイシツツアリシコウグ ンガ イマココニダ イトウ  
アケウエイケンナイシヨコクケウト ウノテキタルヘ イ、エイ、  
レウコクニタイシムテキノジ ンヲソナエテモツテソノジ キラハラ  
ワントス、ステ ニカイホウアイツイデ イタル、ワガ マンシ  
ウコクートクーシンケウト ウホ ウエイノホンキ ニノツトリキ  
コクトータイモツテフハイノチイラキツ キテホツホ ウニバ ン  
ジ ヤクノジ ンヲフセリ、タダ トモニトモニユカソノミ」ココ  
ニチウシンヨリコウグ ンセウヘイノゴ ケントウトゴ フ ンノ  
テウキウトライノル」マンシウテイコクコクムソウリダ イジ ン  
テウ...ケイ

126m  
=

後  
経  
理

十二月十五日

號 八 一

陸海集發第五二號

昭和十一年十一月二十日

五十九

財團 恩賜 陸海軍集會所

財團 恩賜 陸海軍集會所

16.12.1  
監査

庶務理事

庶務參典

庶務理事

庶務參典

會計理事

會計參典

會計理事

會計參典

事業報告件

別紙十月分事業報告書提出候也

別紙添

紙  
日  
監査課

〇

〇

〇

拾年保

閱



號九一

十二月十七日

陸軍省 第一號 壹第 六三九四

救第一、〇九七號

昭和十六年十二月九日

陸軍次官 發

日本赤十字社社長 公爵 德川 圀

救護班派遣ニ關スル件

十二月六日官房第六三二九號ニ依リ別紙ノ通救護班ヲ派遣可致候  
條及報告候也



主務



日本赤十字社 順

日本赤十字社

秘

別紙

救護班派遣要領

計	第二九八 京都	第二九七 長崎	第二九六 大分	第二九五 静岡	救護班名	編成		人員		配屬部隊	配屬部隊		
					任	支	書	記	看護婦長			看護婦	使
二	一	一	一	一	編成	部	增	一	一	一	一	配屬部隊	配屬部隊
四	一	一	一	一	部	增	長	一	一	一	一	配屬部隊	配屬部隊
六〇	二〇	二〇	一〇	一〇	部	增	婦	一	一	一	一	配屬部隊	配屬部隊
二	一	一	一	一	部	增	使	一	一	一	一	配屬部隊	配屬部隊
六八	二三	二三	一一	一一	部	增	計	一	一	一	一	配屬部隊	配屬部隊
												配屬部隊	配屬部隊

編成上ノ注意

- 一、看護婦長ノ要員不足ノ場合ハ昭和十一年以前任用ノ  
 田種救護看護婦中ノ適任者ヲ選定シ特別任用ヲ上  
 申スルモトス
- 二、看護婦要員中其三分一以内ヲ臨時救護看護婦ヲ以テ  
 充ツルコトヲ得
- 三、本表中使ヲ缺ク救護班ニ對シテハ左記既派遣括弧内

十二月十九日

救護班ノ使丁ヲ兼務セシム

第二九五班 (臨時第六救護班)

第二九六班 (臨時第五救護班)

注意

(本審案用紙八三年以前保存ノモノニ使用スルモノトス)

拾年保

政務次官 回付 決裁後 連帶 軍務課 航空部 決行(決裁)後 回覽課名

保存期限

決裁指定 三年

局長

決行指定

訓

二

號

受領番 壹第五八九六號  
件名 航空許可ニ関スル件  
心元廳(課)名 中華航空株式會社

大臣委

主務局長

次官委

政務次官

局長

主務課長

高級副官

參與官

課長

主務副官

書記官

主務課員

官房掛

筆記者

番防衛甲第 六四六號

受領 昭和 年 月 日

提出 昭和 拾六年 三月 拾貳日

受領 昭和 年 月 日

了結 昭和 年 三月 十九日

連帶局長

課長

決行(決裁)後 局長

課長

陸軍

陸普

副官ヨリ出願人へ通牒(上海憲兵隊經由)

十月十六日

運航第ニ七号

附出願首題ノ件許可セラレタルニ付軍機保護法施行

規則第十八條ニ依リ許可證ヲ交付ス

陸普第九〇九六號

昭和拾六年三月拾貳日

許可證

三三一号

北京國會街五〇號

中華航空株式會社

一行 爲

定期航空、臨時航空及之等ノ爲ニル空中輸送

一、場所(區域)

別紙ノ通

一、本證有效

自昭和十七年一月三十一日

一、條 件

一、要塞地帯上空ノ航空ヲ禁ス  
二、本航空ニハ字號機、遠鏡等ノ使用ヲ禁ス  
三、台北飛行場ニ於テハ燃料補給ノ爲ノミニニ離著陸ヲ

許可證ニハ 航空一通係付成元

防衛課

又若シ本條件ヲ變更アリ

陸普

副官ヨリ出願人へ通牒(上海憲兵隊經由)

運航第三七号

十月十六日附出願首題ノ件許可セラレタルニ付軍機保護法施行

規則第十八條ニ依リ許可證ヲ交付ス

陸普第九〇九六號

昭和拾六年三月拾貳日

許可證

三三一号

北京國會街五〇號  
中華航空株式會社

一、行 爲

定期航空、臨時航空及之等ノ爲ニル空中輸送

一、場所(區域)

別紙ノ通

一、本證有效間

自昭和十七年六月三十日

一、條 件

一、要塞地帯上空ノ航空ヲ禁ス  
 二、本航空ニハ字號機、望遠鏡等ノ使用ヲ禁ス  
 三、台北飛行場ニ於テハ燃料補給ノ爲ノミニ離著陸ヲ行フモノトス  
 四、必要ニ応ジ陸軍官憲ヲ搭乘セズ若シ本條件ヲ變更シ又ハ本航空ヲ中止セシムルコトアリ



陸普 副官ヨリ台湾軍參謀長へ通牒

十一月十四日附台參經由第五七號進達首題ノ件別紙ノ通許可セラレタリ之付依命通牒ス  
進子許可證ハ上海憲兵隊經由山體人ハ立付セシニ付為合了候フ

陸普第九〇九六號 昭和拾六年三月拾貳日

陸普 副官ヨリ支那派遣軍總參謀長へ通牒

首題ノ件ニ関シ別紙甲號ノ願出マリ乙號ノ通許可セラレタリ之付依命通牒ス

陸普第九〇九六號 昭和拾六年三月拾貳日

別紙

陸軍

昭和十二年陸軍省令第四十三號軍機保護  
法施行規則第五條、航空禁止區域ニ於  
ケル左記航路ニ於テ航空

左記

上海—台北—廣東

臺參防第二九六號

航空許可ニ關スル件報告

昭和十六年十一月十四日

臺灣軍司令官 安藤利吉



陸軍大臣 東條英機 殿

首題ノ件ニ關シ中華航空株式會社ヨリ別紙及別冊ノ通願出アリタリ  
當軍トシテハ許可差支無之ニ付報告ス

上意警第七三七號

航空許可願ニ關スル件報告

昭和十六年十一月二日

上海憲兵隊長

納見敬郎

陸軍大臣 東條英機 殿



中華航空株式會社ヨリ首題ノ件ニ關シ別紙ノ通り願出アリタルカ本件ハ  
軍機保護法施行規則第五條ニ依ル許可支障無之ニ付報告ス  
追而本件ハ現ニ還航シアルモノヲ更ニ期間ヲ延長セントスルモノナル  
ニ付申添フ

(了)

發送先 陸軍大臣

興亞院華北連絡部經由  
上海憲兵隊經由  
台灣軍司令官經由

昭  
和  
十  
六  
年  
十  
月  
三  
日



上海憲兵隊經由  
昭  
和  
十  
六  
年  
十  
月  
三  
日



昭  
和  
十  
六  
年  
十  
月  
三  
日



運航第二一七號

航空許可願

領  
壹  
第  
五  
九  
六  
號



昭和十六年十月十六日

本籍 山口縣德山市四〇〇九  
現住地 北京中華航空株式會社

總裁 兒玉常雄

明治十七年二月廿九日

陸軍大臣 東條英機 殿

左記ノ通航空致度軍機保護法施行規則第五條ノ規定ニ依リ許可相成  
度候也

一、目的

記



(1) 旅客、貨物及郵便物輸送實施ノ爲ニスル上海—台北—廣東間定期航空及臨時航空

但シ台北飛行場ニ於テハ燃料補給ノ爲離着陸ヲ行フノミニシテ一般ノ旅客、貨物及郵便物ヲ取扱ハス

(2) 定期航空及臨時航空ノ爲ニスル空中輸送

三、出發地、出發日時、通過地、到着地、到着豫定日時

別紙甲ノ通

三、許可期間

自昭和十七年一月一日  
至昭和十七年六月三十日

四、航空機ノ種類、機体ノ型式、發動機ノ型式及馬力、國籍記號、登録記號

別紙乙ノ通

別紙乙ノ通

五、乘員ノ現住所、氏名並ニ乘員ノ技倆證明及免狀ノ種類

別紙丙ノ通

六其ノ他

添附寫真各四葉（乘員）

別紙甲

東廣一北台一海上				區間
海上 ← 東廣		東廣 ← 海上		區間
台 北	廣 東	台 北	上 海	出發地
一三・一〇 (每週火・金)	九・〇〇 (每週火・金)	一二・三〇 (每週月・木)	九・〇〇 (每週月・木)	出發日時
台北   淡水   富貴角   彭佳嶼   烏山   上海	廣東   遮浪角   新竹   台北	台北   新竹   遮浪角   廣東	上海   舟山島   彭佳角   富貴角   淡水   烏山   台北	通過地
上 海	台 北	廣 東	台 北	到着地
一六・〇〇 (每週火・金)	一二・三〇 (每週火・金)	一六・〇〇 (每週月・木)	一一・五〇 (每週月・木)	到着豫定日時



別紙乙

種別	國籍	登録記号	型式	發動機型式	馬力	備考
旅客機	中華民國	〇一五〇一	D00Ⅲ型	ライオンⅢ型 SOR-1820GⅢ型	八五〇	發動機二基付
・	・	〇一五〇二	・	・	・	・
・	・	〇一〇〇一	D00Ⅱ型	ライオンⅡ型 SOR-F 511型	七五〇	・
・	・	〇一五〇一	三式 D020型	九七式(八五)	八五〇	・
・	・	〇一五〇二	・	・	・	・
・	・	〇一五〇三	・	・	・	・
・	・	〇一五〇五	・	・	・	・
・	・	〇一五〇六	・	・	・	・
・	・	〇一五〇七	・	・	・	・
・	・	〇一五〇八	・	・	・	・
・	・	〇一五〇九	・	・	・	・
・	・	〇一五一〇	・	・	・	・
・	・	〇一五一一	・	・	・	・
・	・	〇一五〇九	四式 D00Ⅳ型	ライオンⅣ型 SOR-1820GⅣ型	八四〇	・

旅客機	中華民國	012010	四三式 二四WG三型	GR一八二OG三B型	八四〇	發動機二基付
,	,	015001	九七式 破造型	九七式(八五)	八三〇	,
,	,	015002	,	,	,	,
,	,	015003	,	,	,	,

別紙 丙

住所

上海旗高塔路二九〇  
中華航空株式會社  
上海支社

氏名

技倆證明

免狀

加賀 興助	日本一等飛行機操縦士	日本一等飛行機操縦士
鳥居 清次	・	・
安部 藤平	・	・
梯 敏男	日本一等飛行機操縦士	日本一等飛行機操縦士
柴田 龍男	・	・
酒井 市摩呂	・	・
江島 三郎	・	・
鈴木 伴次	・	・
山形 徳衛	・	・
佐藤 清志	・	・
熊谷 義則	・	・
神田 好武	・	・
和久田 善雄	・	・
池内 秀太郎	・	・

山口 清	日本一等飛行機操縦士	日本一等飛行機操縦士
西村 大助	日本一等飛行機操縦士	日本一等飛行機操縦士
奥村 十郎	日本一等飛行機操縦士	日本一等飛行機操縦士
横山 忠生	日本一等飛行機操縦士	日本一等飛行機操縦士
水野 博	日本一等飛行機操縦士	日本一等飛行機操縦士
須浦 好二	日本一等飛行機操縦士	日本一等飛行機操縦士
岡 嘉吉	日本一等飛行機操縦士	日本一等飛行機操縦士
佐伯 潤平	日本一等飛行機操縦士	日本一等飛行機操縦士
片 貞三	日本一等飛行機操縦士	日本一等飛行機操縦士
藤原 重直	日本一等飛行機操縦士	日本一等飛行機操縦士
山田 二郎	日本一等飛行機操縦士	日本一等飛行機操縦士
河野 守道	日本一等飛行機操縦士	日本一等飛行機操縦士
森 和人	日本一等飛行機操縦士	日本一等飛行機操縦士
後藤 竹白	日本一等飛行機操縦士	日本一等飛行機操縦士
改角 敏郎	日本一等飛行機操縦士	日本一等飛行機操縦士

和 田 章 典	西 谷 又 次 郎	中 村 和 弘	山 本 義 次	坂 垣 博	福 田 千 年	吉 光 淳 二	加 藤 三 郎	植 木 啓 治	萩 貞 祐	岡 田 理 平	熊 澤 二 男	平 岡 勇	酒 井 滿 平	樺 木 甚 一
,	,	,	,	日本二等航空士	,	,	,	,	,	日本航空機操士	,	,	,	,
,	,	,	,	日本二等航空士	,	,	,	,	,	日本航空機操士	,	,	,	,

山田幸一	日本航空機機師士	日本航空機機師士
佐野國一	・	・
新藤八百太	・	・
和田一夫	・	・
石井敏三	・	・
古山真敏	・	・
田中正人	・	・
武石勝雄	・	・
奥野正一郎	・	・
小由勝左右衛門	・	・
高橋喜代志	・	・
小池文雄	・	・
佐野匡敏	・	・
山田圭一	・	・
石津啓	・	・



森屋 金兵衛	一級通信士	一級通信士
稻田 正	・	・
小八重 正里	・	・
藤岡 武	・	・
下谷 清之	・	・
浪本 武藏	・	・
永島 光次郎	・	・
飯野 金作	・	・
小見 騰	・	・
中井川 太七	・	・
田原 幸男	・	・
古屋 繁	・	・
岩本品 三	二級通信士	二級通信士
小波 純一	・	・
竹田 義雄	・	・





乘員寫真

四

杭州

安慶

九江

温州

南昌

台北

福州

厦門

汕頭

梧州

廣東

海口

平藤部安 士 縦擇



加賀賀 士 縦擇



男敏 務 士 縦擇



次清 居 島 士 縦擇



部三島江士縱擇



男龍田柴士縱擇



次研木鈴士縱擇



呂摩市井酒士縱擇



則義谷熊士縱擇



衛徳形山士縱擇



武好田神士縱擇



志清藤佐士縱擇



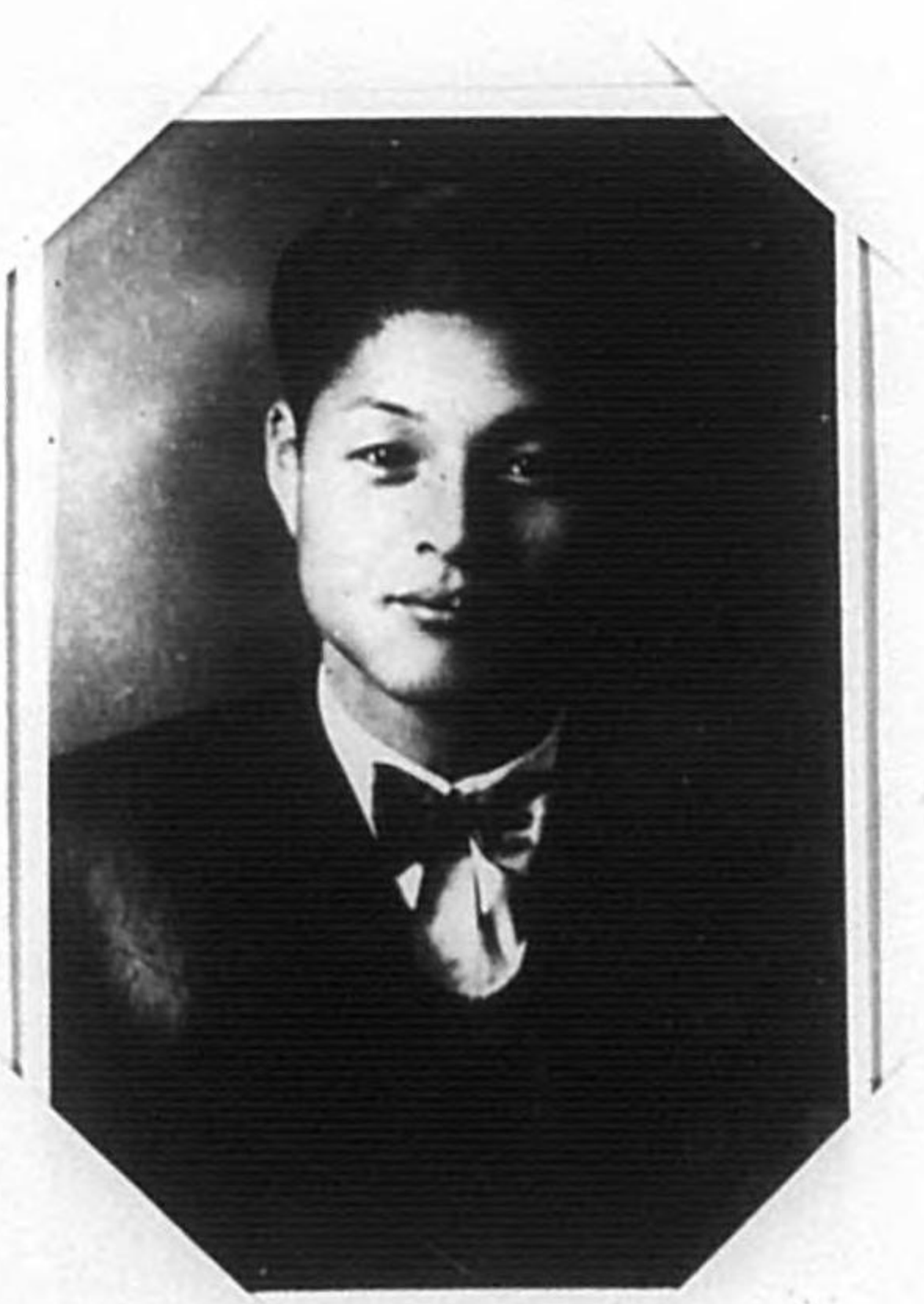
清 山口 士 縱 擇



雄 善 田 久 知 士 縱 擇



助 大 村 西 士 縱 擇



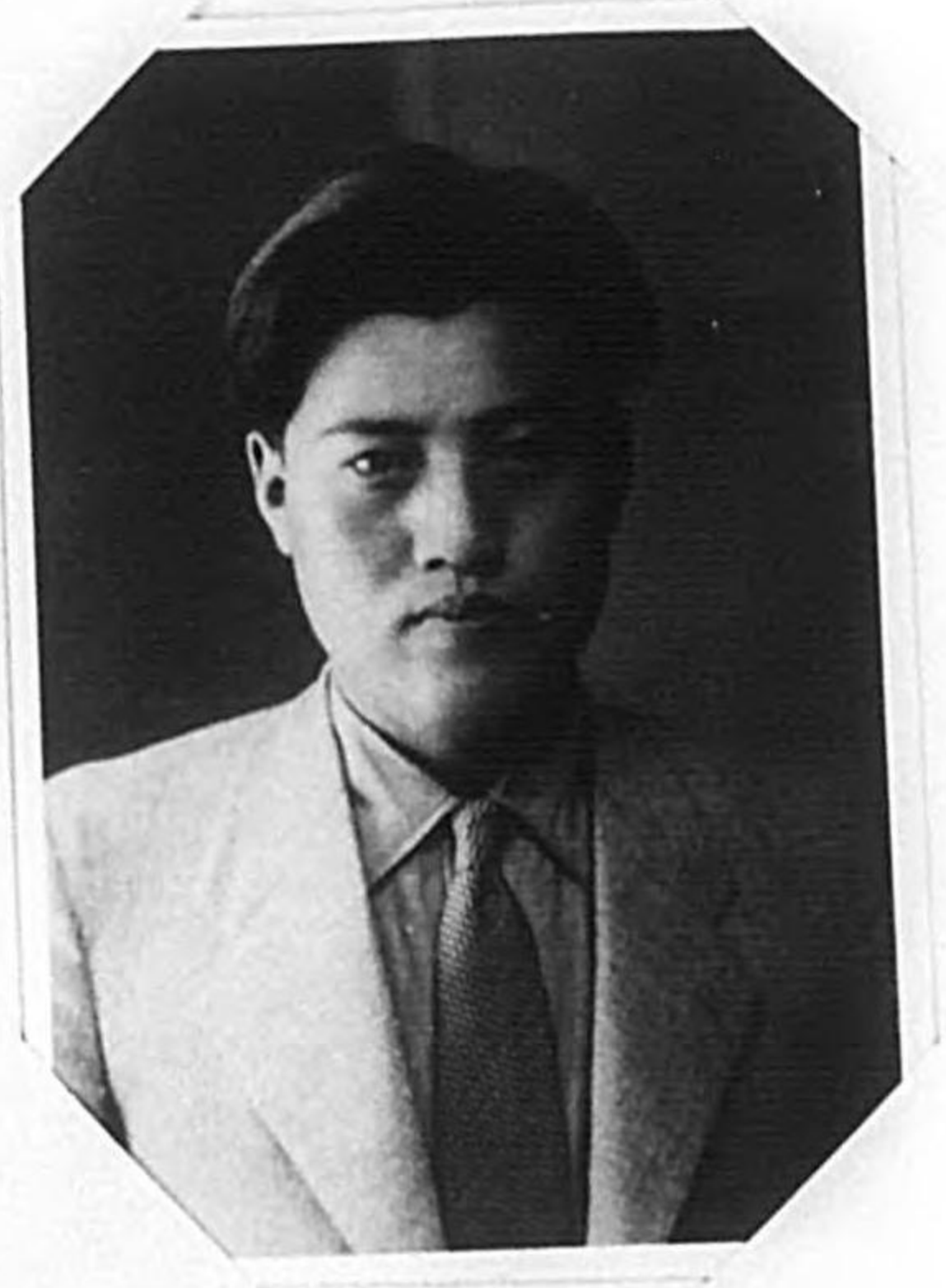
部 太 秀 池 士 縱 擇



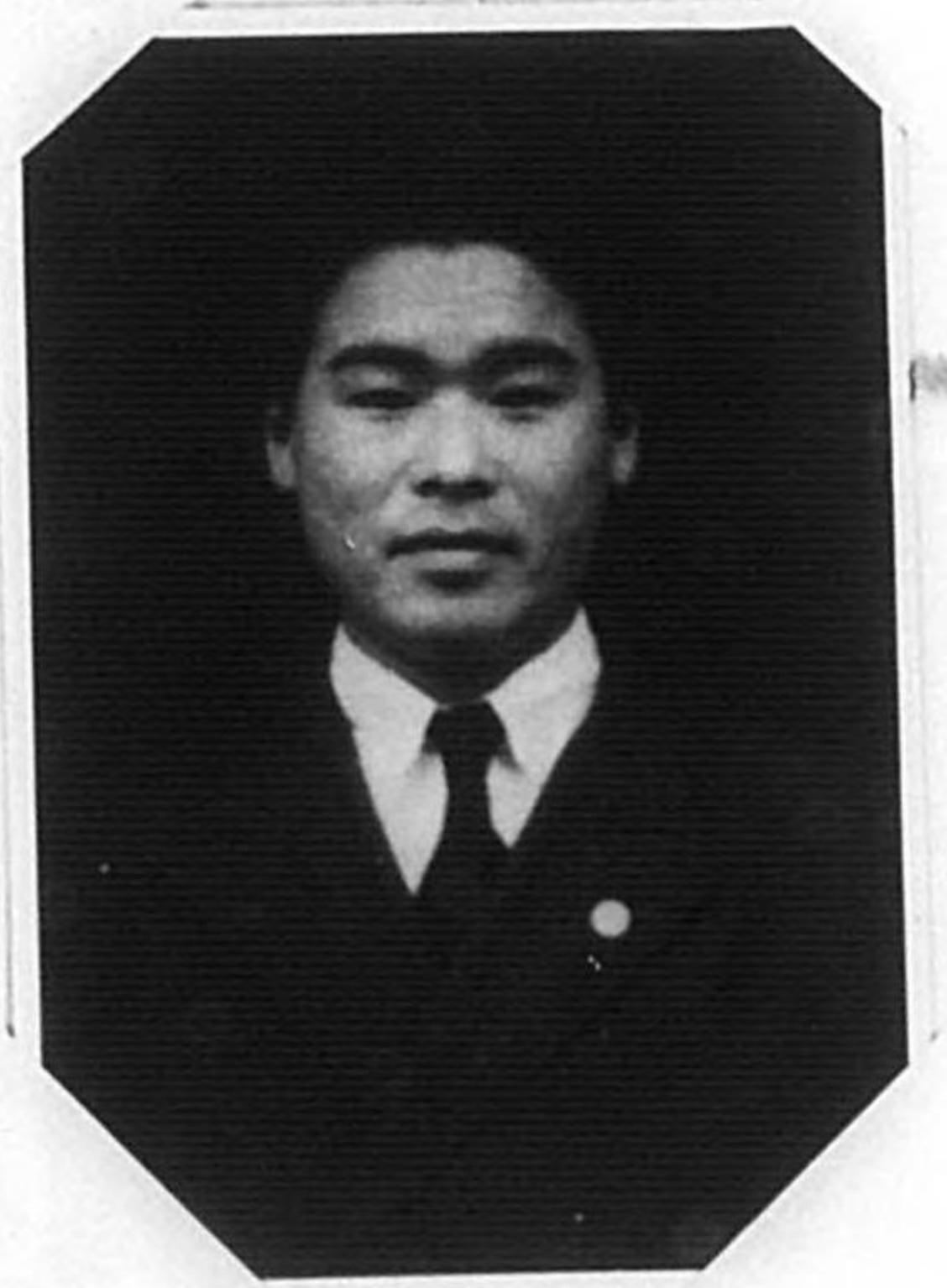
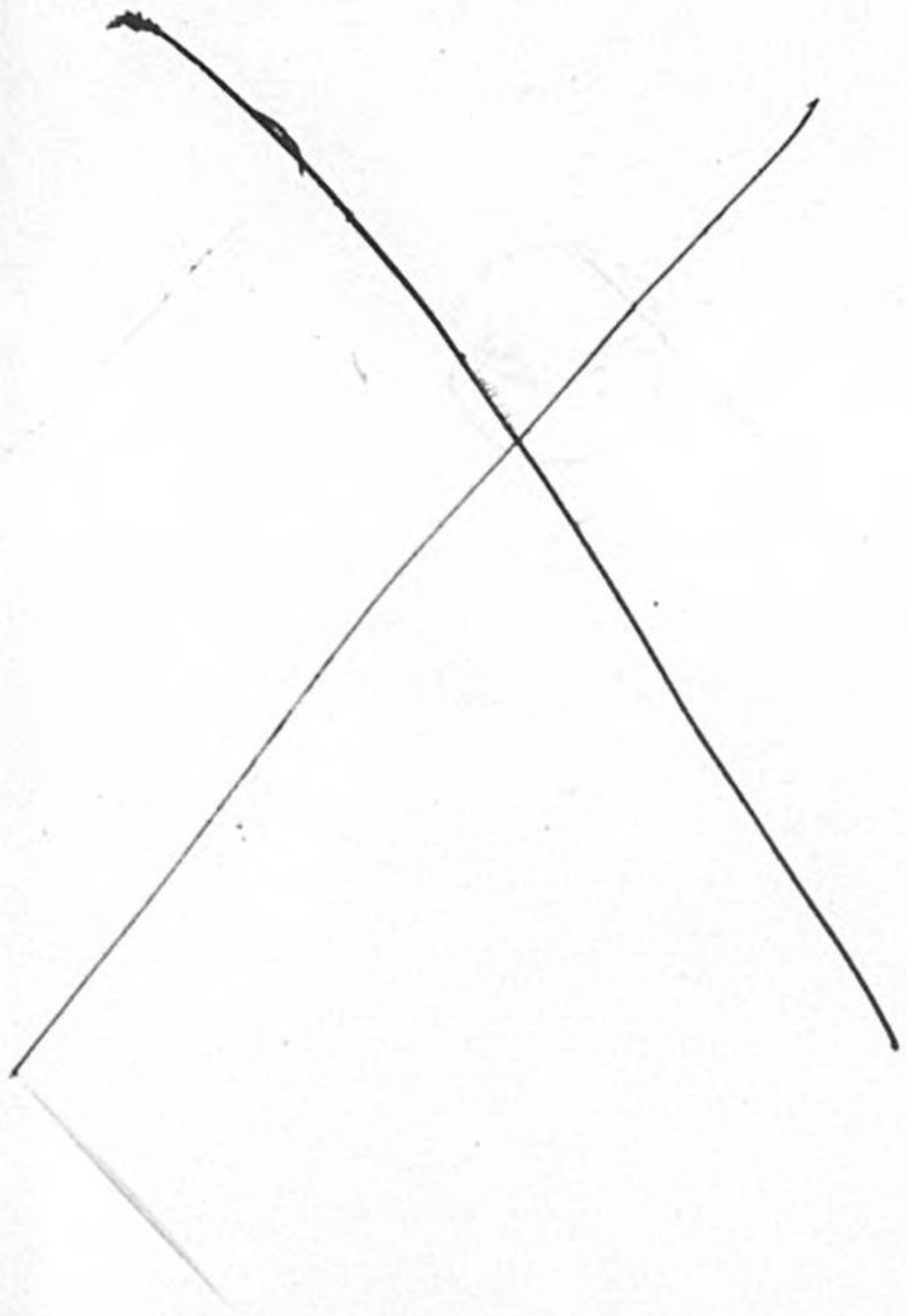
傳 野水 士 縱 擇



郎 十 村 奥 士 縱 擇



生 史 山 横 士 縱 擇





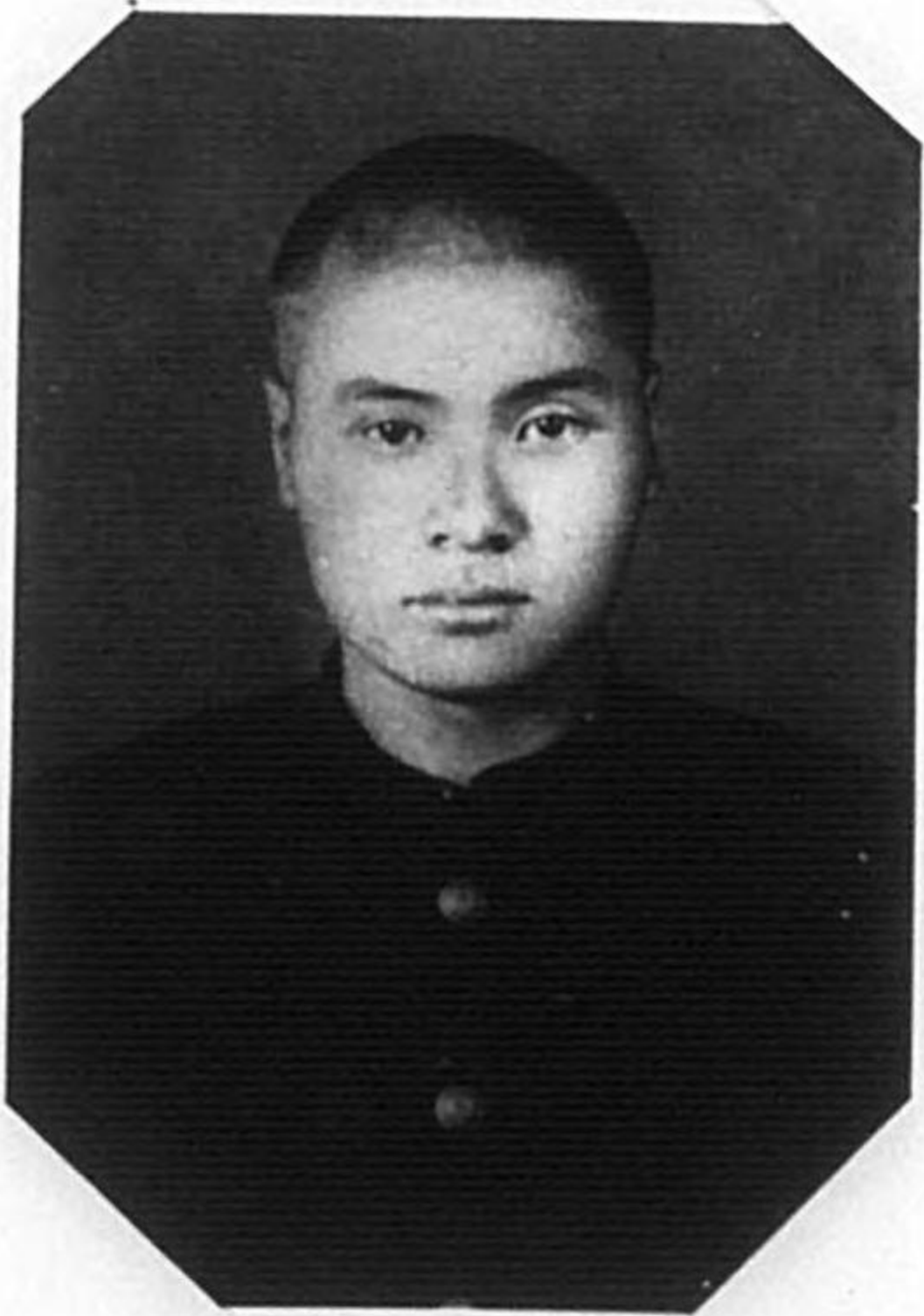
平瀨 伯佐 士 縱擇



二 好 浦 頌 士 縱擇



三 貞 片 士 縱擇



吉 嘉 岡 士 縱擇



道守野河士縱擇



道重厚藤士縱擇



人和森士縱擇



郎=田山士縱擇



田和 士 縱 擇



白竹 藤 後 士 縱 擇



谷 西 士 縱 擇



部 敏 角 牧 士 縱 擇



傅 垣 放 士 縱 擇



弘 和 村 中 士 縱 擇



年 子 田 福 士 縱 擇



次 義 本 山 士 縱 擇



名啓木 種 士 縱 擇



二 淳 光 芳 士 縱 擇



祐 貞 萩 士 縱 擇



郎 三 藤 加 士 縱 擇



勇岡平士閣機

平理田岡士閣機



平満井西士閣機

男=澤熊士閣機



一 国野 伍 士 関 機



一 甚 木 雅 士 関 機



太 百 八 藤 新 士 関 機



一 幸 田 山 士 関 機



敬真山古士関様



夫一田和士関様



人正中田士関様



三敏井石士関様





関嶽 小 幸 弥 左 右 衛 門



関嶽 武 石 静 雄



関嶽 高 橋 善 夫



関嶽 奥 野 正 一



一 圭田山 士 関 煥



雄 文 池 小 士 関 煥



啓 津 石 士 関 煥



敏 直 野 佐 士 関 煥



次泰口山士関機



郎太忠本山士関機



一亮川西士関機



次勘口江士関機



正 水清 士 関 磯



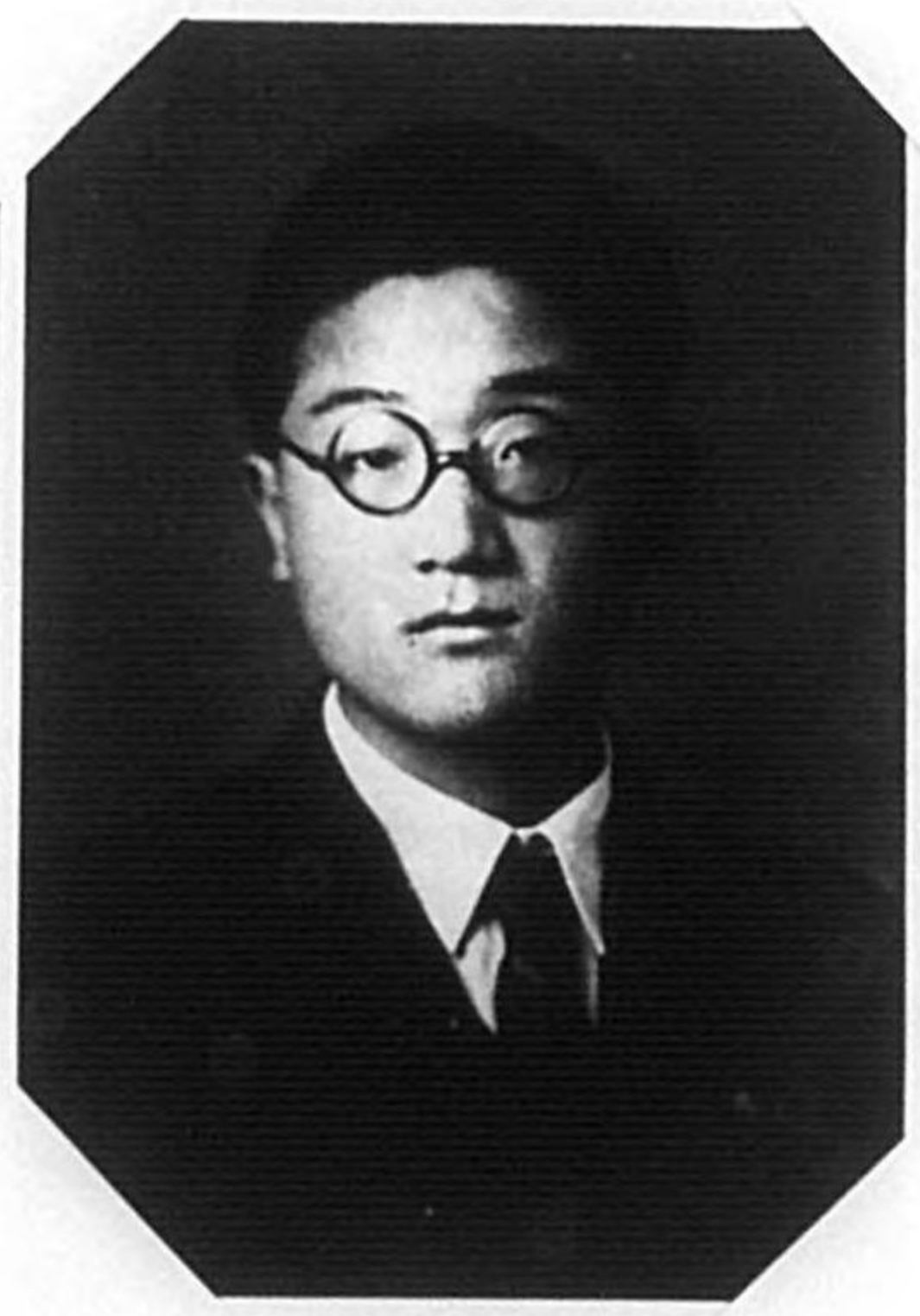
次 権 月 若 士 関 磯



雄 士 富 厚 上 士 関 磯



実 吉 藤 士 関 磯



二 健次 巽 士 関 磯



昇 章 深 士 関 磯



治 国 村 北 士 関 磯



一 甚 尾 横 士 関 磯



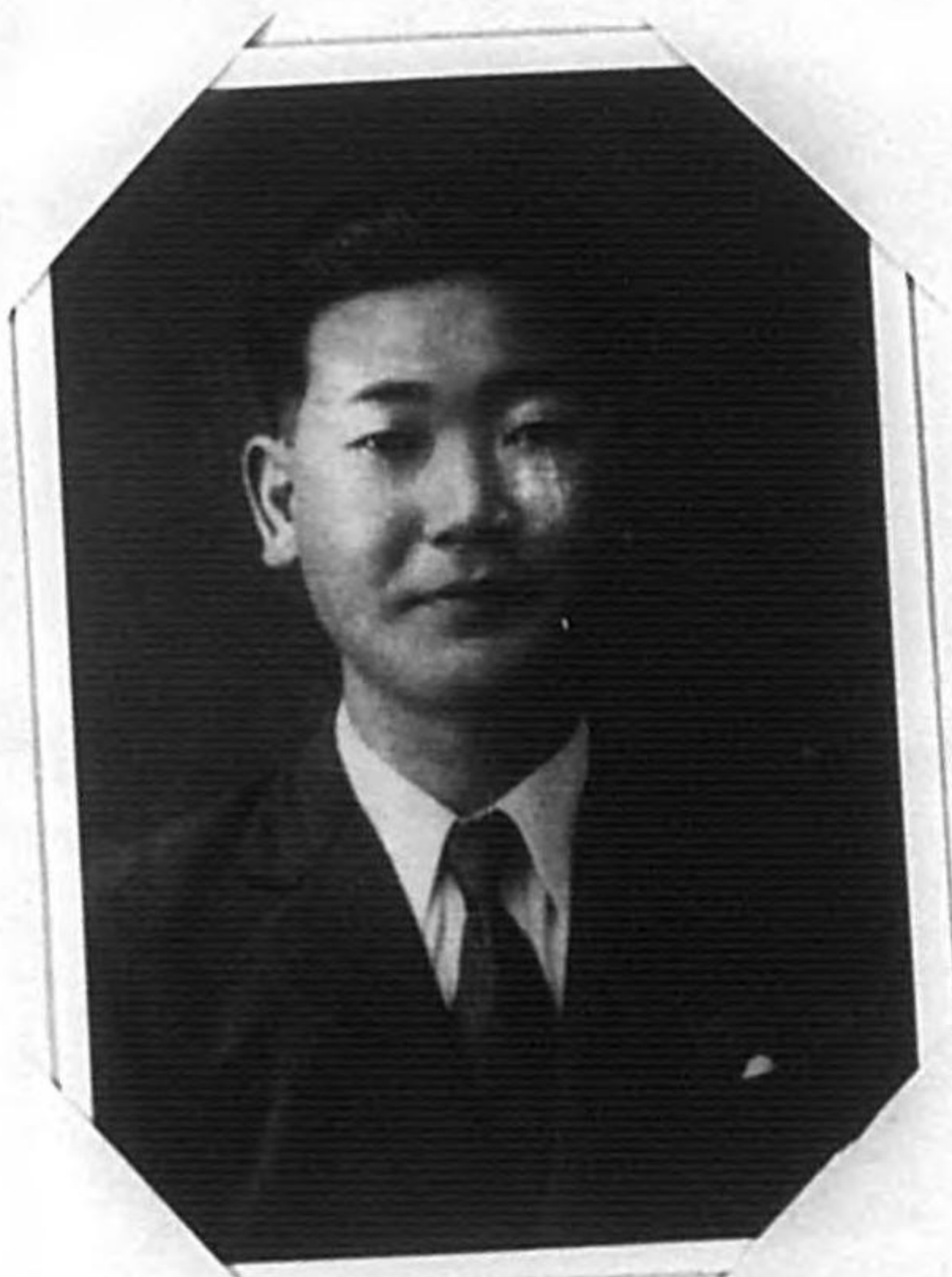
雄富木鈴士関機

一宏藤遠士関機



衛兵金屋森士信通

恒清藤伊士関機



武岡藤士信通



正田裕士信通



之清谷下士信通



里正重八小士信通



11 通信士 野金 张



通信士 浪本 武义



通信士 小见 腾



通信士 永岛 光次郎





繁屋古 七信通



七太川井中 七信通



三 田本岩 七信通



男孝厚田 七信通



通信士 小澤 昇



通信士 小沢 純一



通信士 崎崎 勇真



通信士 田所 義雄



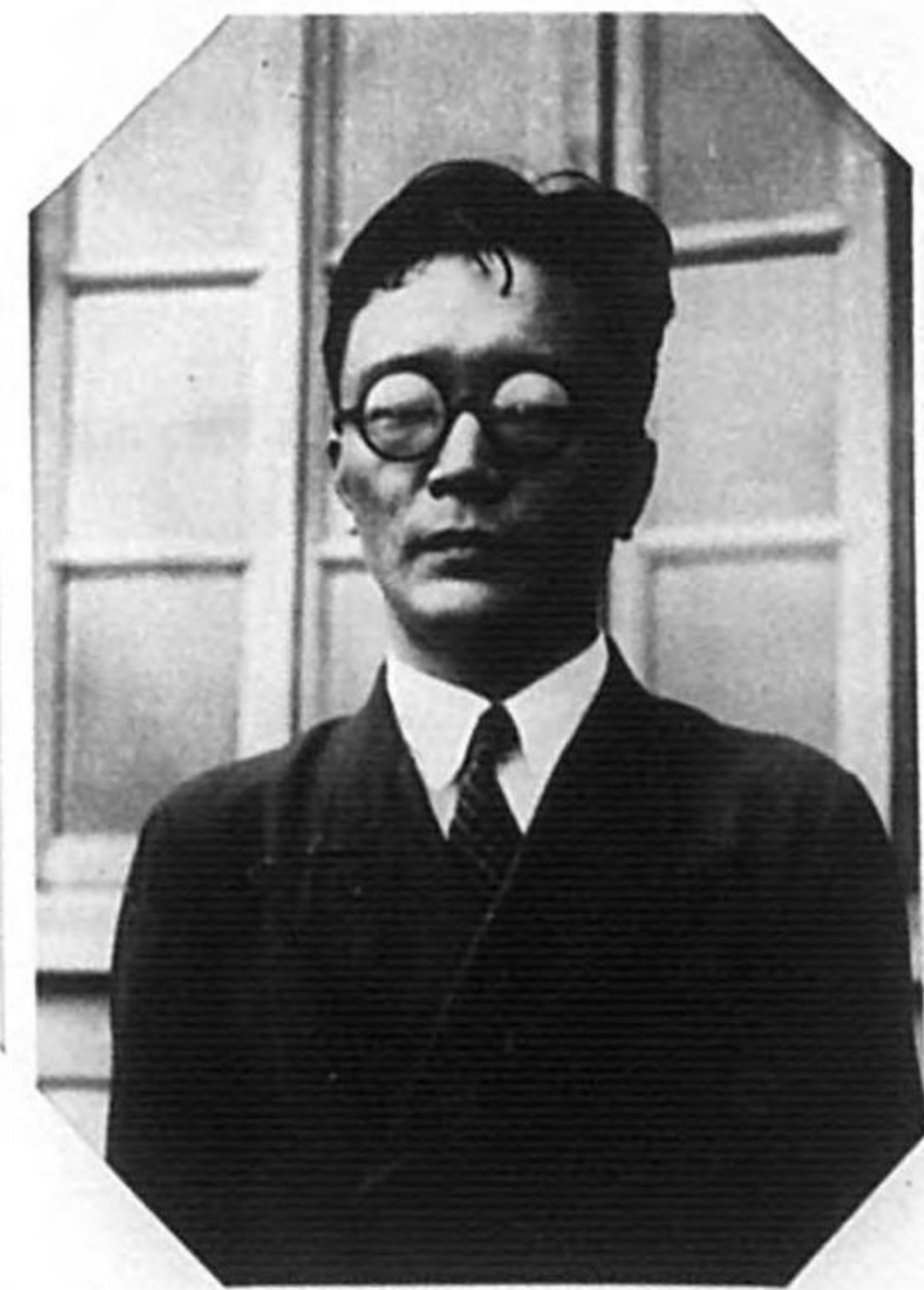
通信女士本田正彦



通信女士川辺昇



通信女士藏田健治



注意

(本審案用紙八二三年以内保存ノモノニ使用スルモノトス)

拾年保

陸軍

保存期限









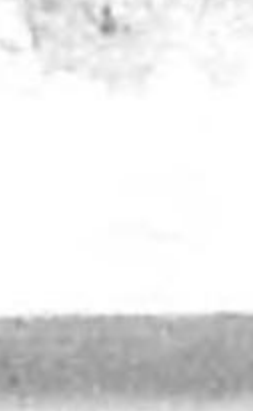



三年

決裁指定

局長

決行指定

第一二號

大臣委 局長 		次官 次官委 		政務 次官 參與官 		件名 航空許可ニ関スル件	受領番 壹第六〇八九號	政務次官回付 決裁後 連帶參本才由課 航空本部 決行(決裁)後 回覽課名	起元廳(課)名 朝日新聞社
主務局長 課長 		高級副官 副官 		書記官 書記官 					
提領 昭和 年 三月 十日		受領 昭和 年 三月 十日		主務局長 課長 		審案 審案 	主務課長 主務課長 	主務副官 主務副官 	
了結 昭和 年 三月 十日		提領 昭和 年 三月 十日		主務局長 課長 					審案 審案 

陸普 副官ヨリ出願人へ通牒(麹町憲兵分隊経由)

十一月十九日附出願首題ノ件許可セラレタルニ付軍機保護法施行

規則第十八條ニ依リ許可證ヲ交付ス

追テ外地ニ於ケル航空ニ係リテハ現地軍ノ指示ニ依ラレ度ガ多ク係フ

許 可 證 陸普第九〇〇〇号

昭和拾六年三月拾貳日

三三三三

東京市麹町区有樂町二丁目三番地

朝日新报社

一行 爲 新南字真原橋空輸ノ為、航空

一、場所(區域) 別紙ノ通

一、本證有效 自昭和十六年十二月十一日 至昭和十七年五月十八日

一、條 件

一、要塞地帯及陸軍輸送港域上空ノ航空ヲ禁ス  
二、本航空ニ係リテハ陸軍官署ノ指示ニ依リテハ  
三、必要アリト認ケル場合ハ陸軍官署ヲ搭乗セシメ若シ本条件ヲ變更シ又リ本航空ヲ中止セムコトアリ

陸軍

陸普

副官ヲ 东部、中部、西部、朝鮮、南、東

各軍參謀長へ通牒

首題ノ件ニ関シ別紙甲號ノ願出アリ乙號

ノ通牒可キタル旨依命一通牒ス

通牒先 東京、中部、西、朝鮮、南、東各軍

陸普第九一〇一號

昭和拾六年十二月拾貳日

本山



別紙

陸軍

昭和十二年陸軍省令第四十三號軍機保護法  
施行規則第五條ニ想是ル航空禁止区域ニ  
於ケル左記航路ノ航空

左記

東京—福玉—京味—新義州—奉天—

新京—ハルビン

麹町憲警第二五三〇號

意見書

昭和十六年十一月二十五日 麹町憲兵分隊長 平林茂樹

麹町憲兵分隊長 甲

陸軍大臣 東條英機 殿

東京市麹町區有樂町二丁目三  
朝日新聞社

社長 村山 長 肇

右者別紙ノ通り軍機保護法施行規則第五條ニ  
基キ航空許可方願出タルニ付許可可然キ  
天ノ卜思料ス





陸軍大臣

航空許

請書

昭和十六年十一月十九日...

東京市麴町區有樂町二丁目三番地

朝日

社長



陸軍大臣 東條英機 殿

左記ノ通航空致度軍機保護法施行規則第五條ニ依リ此段許可申請候也  
記

一、目的 新聞寫真原稿空輸ノタメ

二、出發地、出發日時

(1) 出發地 東京飛行場



(ロ)航空期間

御許可ノ日ヨリ向フ六ヶ月間(昭和十七年五月十八日迄遞信大

臣許可期間)

(ハ)出發日時

不 定

三、着 陸 地

福岡ー京城ー新義州ー奉天ー新京

四、到 着 地

ハルビン

備 考 復路ハ往路ノ逆順トス

五、航空機ノ種類、機體ノ型式

(イ)セヴアスキー式二P A B三型機

二 機

(ロ)三菱式鵬型機

一 機

(ハ)三菱式雁型機

一 機

(ニ)三菱式雁二型機

一 機

(ホ)川崎式九八〇型機

一機

(ヘ)三菱式M〇二〇型機

一機

(ト)九六式陸上攻撃機（海軍省貸下）

一機

六、發動機ノ型式及馬力

(イ)ライト・サイクロンG三B型八百二十馬力

（セヴァスキー式）

(ロ)壽式三型五百五十馬力

二基

（鵬）

(ハ)全

一基

（雁型級朝風）

(ニ)三菱式二六ノ一型八百馬力

一基

（天風）

(ホ)天風式五型改一四百五十馬力

一基

（如月）

(ヘ)中島式改五型七百六十馬力

二基

（朝雲）

(ト)九六式陸上攻撃機（海軍省貸下）

一機

七、國籍記號、登録記號

(イ)セヴァスキー式

J I B A A N

J I B A A Q

(ロ)三菱式鵬型

J I B A A E

(ハ)三菱式雁型(朝風)

J I B A A L

(ニ)三菱式雁二型(天風)

J I B A A G

(ホ)天風式五型改一(如月)

J I B A A R

(ヘ)中島式改五型(朝雲)

J I B A A P

(ト)九六式陸上攻撃機(海軍省貸下)

J I B A A S

八、乗員ノ住所、氏名並ニ技倆證明書及免狀ノ種類

東京市麴町區有樂町二ノ三 朝日新聞東京本社航空部内

一等飛行機操縦士一等航空士

新野 百三郎

同

飯沼 正明

同

長友 重光

一等飛行機操縦士二等航空士

川崎 一

同

中島 忠英

同	同	同	航空機機關士	同	同	同	同	同	同	同	航空機機關士無線通信士	同
木島幸司	富澤進	仙野利男	土屋貞次	早川敏男	川村次郎	中島憲三	近藤通	永田紀芳	堀江正春	島崎清	塚越賢爾	小俣壽雄

京城—新義州—奉天—法庫—八面城—懷德—新京—雙城西側—  
大平庄—哈爾濱ヲ結ブ線ニ依ルヘシ

但シ本溪湖、撫順各停車場ヲ中心トスル半徑六粁以內ノ地域上

空ノ飛行ヲ禁止ス

雙城西側—哈爾濱間ハ高度三〇〇米以下ヲ飛行スルコト

飛行場ノ使用ニ關シテハ關東軍司令官ノ許可ヲ受クヘシ

三、本飛行實施ニ際シテハ其ノ都度豫メ關係各航空所長宛發着日時

ヲ届出ツヘシ

四、稅關檢査ハ往復共奉天飛行場ニ於テ之ヲ受クヘシ之カ爲其ノ發

着日時ヲ豫メ奉天稅關長ニ届出ツヘシ

五、蘇家屯、馬三家、文官屯（以上何レモ奉天地區）ノ區域ハ窓ヲ

遮蔽スヘシ

六、飛行場發着ニ際シテハ其都度所在現地軍指揮官ノ指示ヲ受クヘ

シ

七、本件實施ニ際シテハ尙軍機保護法ニ依ル許可ヲ受クヘシ

八、其ノ他ノ事項ニ關シテハ一般法規ヲ遵守スヘシ

昭和十六年十一月十日

陸軍省 陸軍大臣

八其ノ由ノ事更ニ關シテハ一經去駐ニ懸守スヘシ  
大日本帝國ニ對シテハ尚軍機ヲ守ルニ對シテハ  
空民第四二三號  
昭和十六年十一月十九日

航空局長官

朝日新聞社  
社長 村山長元 殿  
三本兼行朝日新聞社通信連絡飛行ニ關スル件  
昭和十六年十月二日附願出右件左記條件ヲ附シ許可セラレタルニ  
付了知相成度

一、航空路ハ左記ニ依ルヘシ  
東京一青森一八戸一蕨一藤原一藤原一雙葉西一  
大平一左記ニ依ルヘシ  
本路線ノ通記  
中心トスル半島六次以内ノ航線ト

同	同	同	航空機機關士	同	同	同	同	同	同	同	航空機機關士無線通信士	同
木島幸司	富澤進	仙野利男	土屋貞次	早川敏男	川村次郎	中島憲三	近藤通	永田紀芳	堀江正春	島崎清	塚越賢爾	小俣壽雄



無線通信士

川島元彦

以上

3

規格B列4號

東京本館

交空業第六九號二四一、二六一四

康德八年十一月七日

滿洲國  
交通部次長 飯野 毅 夫

朝日新聞社長 村山 長 舉 殿

朝日新聞社機日滿通信連絡飛行ニ關スル件

昭和十六年十月二日付ヲ以テ申請ニ係ル首題ノ件左記條件ヲ以テ許可セラレタルニ付及通知

記

一、航空路ハ左記ニ依ルベシ

京城―新義州―奉天―法庫―八面城―懷德―新京―雙城西側―大平庄

―哈爾濱ヲ結ブ線ニ依ルベシ

但シ本溪湖、撫順各停車場ヲ中心トスル半徑六浬以内ノ地域上空ノ飛行ヲ禁止ス

- 雙城西側、哈爾濱間ハ高度三〇〇米以下ヲ飛行スルコト
- 二、飛行場ノ使用ニ關シテハ關東軍司令官ノ許可ヲ受クベシ
  - 三、本飛行實施ニ際シテハ其ノ都度豫メ關係各航空所長宛發着日時ヲ届出ツベシ
  - 四、稅關検査ハ往復共奉天飛行場ニ於テ之ヲ受クベシ之ガ爲其ノ發着日時ヲ豫メ奉天稅關長ニ届出ツベシ
  - 五、蘇家屯、馬三家、文官屯（以上何レモ奉天地區）ノ區域ハ窓ヲ遮蔽スベシ
  - 六、其ノ他ノ事項ニ關シテハ一般法規ヲ遵守スベシ

奉天八甲一五七

文官屯

文官屯

馬三家

蘇家屯

文官屯

馬三家

蘇家屯

文官屯

馬三家

蘇家屯

文官屯

馬三家

蘇家屯

文官屯

馬三家

蘇家屯



朝日新聞社航空部次長

一等飛行機操縦士  
二等航空士

新野 百三郎

明治三十五年四月三十日生



朝日新聞社航空部員

一等飛行機操縦士  
二等航空士

長友重光

大正三年三月二十四日生



朝日新聞社航空部員  
一等飛行機操縦士  
三等航空士

川崎

大正三年五月七日生

一



朝日新聞社航空部員

一等飛行機操縦士  
二等航空士

小 侯 壽 雄

大正三年九月四日生



朝日新聞社航空部員

一等飛行機操縦士  
二等航空士

小 侯 壽 雄

大正三年九月四日生





朝日新聞社航空部員

航空機機關士  
兼無線通信士

塚 越 賢 爾

明治卅三年十一月八日生



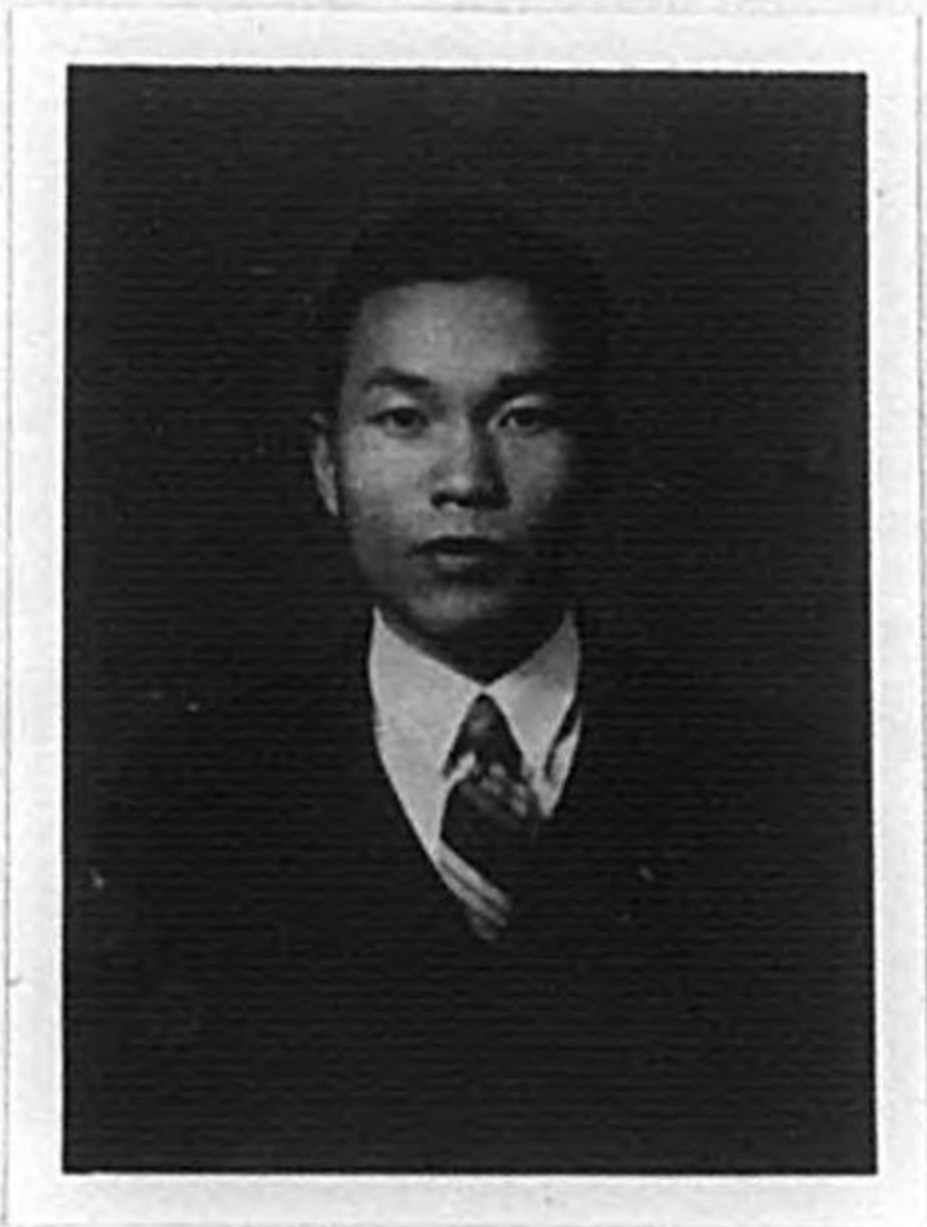
朝日新聞社航空部員

航空機機關士  
兼無線通信士

島崎

清

明治三十六年八月五日生



朝日新聞社航空部員

航空機機關士  
兼無線通信士

堀江正春

明治三十七年五月五日生



朝日新聞社航空部員

航空機機關士  
兼無線通信士

水田紀芳

明治四十三年十一月十日生